

東京都作業療法士会ニュース

編集：東京都作業療法士会広報部 発行：会長 田中勇次郎

職場や地域で働くためのスキル

新年度が始まりました。会員の皆様には、日頃から東京都作業療法士会の活動にご理解・ご支援を頂き、感謝申し上げます。また、新入会の皆様、この度はご入会頂き、誠にありがとうございます。令和3年度最初の都士会ニュースということで、キャリア意識（仕事に対する理想）に繋がる話題提供をしたいと思えます。

作業療法士養成校の教育は、認知領域（知識）、精神運動領域（技能）、情意領域（態度・習慣）の3領域から成っています。単に知識や技能を教えるだけではないのです。昨年度は学内実習を行い、私も数名の学生を受け持ちました。久しぶりに実習指導者になった感覚です。知識や技能は自分で調べれば良いという思いもあり、学生のモチベーションを高める会話や指導を心掛けました。学生からの質問にも答えましたが、意外に単純な、教科書には載っていないことが多かったように思います。コロナ禍の影響もあるのでしょうか。アイコンタクトを取りながらの挨拶や会話、「ありがとうございます」と感謝の気持ちを受けるのは、とても清々しく私自身のモチベーションを高めるものでした。周りの人への影響を考えると、改めて情意領域の指導の大切さを実感しました。

それでは、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくためには、どのようなスキルが必要なのでしょうか。これについては、経済産業省が提言して

いる社会人基礎力が参考になります。社会人基礎力は、1.前に踏み出す力（主体性、働きかけ力、実行力）、2.考え抜く力（課題発見力、計画力、創造力）、3.チームで働く力（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力）の3つの能力（12の要素）から構成されています。養成教育の情意領域と通じるところがあり、社会人として初期に身に付けておく必要があります。そして、能力を発揮するにあたっては、自己を認識して振り返りながら、目的・学び・統合のバランスを図ることが大切であるとしています。

これを作業療法士（OT）として能力を発揮して働くということに当てはめると、どのように捉えれば良いのでしょうか。私の周りには年齢や経験に関係なく優秀なOTがたくさんいます。その方々を見ていると、自分から必要な知識を取りにいっているように思います。専門スキルに関して、絶えずアップデートし、新しい知識を獲得することを習慣とされているようです。作業療法は多様です。それぞれの自己実現や社会貢献に向けて、どう活躍するかを考えながら、日々の作業療法を探ってみてください。学びに困った時には、是非、都士会が企画する学会・研修会を利用してください。そして、対面講習に備えて、お隣りのOTに声を掛けるスキルも磨いておきましょう。



副会長 林 義巳

CONTENTS

- ◆「職場や地域で働くためのスキル」…①
- ◆第17回東京都作業療法学会 参加のお誘い…②
- ◆第17回東京都作業療法学会のお知らせ…③
- ◆生涯教育制度について…④
- ◆オンライン使い方講座…⑤
- ◆地域づくり人材育成研修！キックオフ！…⑥
- ◆看護フェスタ2020の報告…⑥
- ◆「認知症の人と家族の生活支援委員会活動報告」…⑦
- ◆認知症にやさしい本の紹介 VOL.26…⑦
- ◆自動車運転支援を実施している施設間のweb連携会議の開催…⑧
- ◆子ども委員会活動報告…⑧
- ◆令和3年度介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定の概要…⑨
- ◆ブロック活動のお知らせ…⑩
- ◆就労支援委員会活動報告…⑩
- ◆編集後記…⑫

第17回東京都作業療法学会 参加のお誘い

学会長 田中 勇次郎 一般社団法人 東京都作業療法士会会長

第17回東京都作業療法学会は初のフルオンラインにて開催いたします。今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり昨年度の開催は見送りました。実行委員会では新たな学会の姿を模索し、zoomでのミーティングを重ねてきました。新しい挑戦に期待が膨らむ一方、様々な課題に緊張感を持って準備を進めております。Zoom、ウェビナー、YouTube等を活用し充実のコンテンツで皆様の学びが深まる東京都士会らしい学会となることを願っております。是非ご参加ください！

第17回東京都作業療法学会

フルオンライン開催
2021. 7. 11 (SUN)

学会長 一般社団法人 東京都作業療法士会会長 田中 勇次郎

今六ブロックが一つになる

ENTRY 2021年5月1日(土)
事前登録 ~7月5日(月)
東京都作業療法士会員

1000円

東京都作業療法士会員以外
(他道府県作業療法士会員や
非作業療法士協会会員)

1500円

作業療法士養成校・養成課程学生
及び2020年以降免許取得の
東京都作業療法士会員 **無料**

※会費お支払い後、実行委員会が会員確認作業を
させていただきます。スムーズに閲覧開始が出来るように
ご登録をなるべくお早めをお願い致します。

東京六輪

テーマは士会6ブロックにちなみ「東京六輪」
作業療法とスポーツの新たな関係が見える企画
東京作業療法の「今」を知る企画
初のフルオンライン開催となる都学会です
多くの参加をお待ちしています

TOKYO OT SIX BLOCKS

学会詳細 参加方法 お申し込みはこちら



Toky OT

お問い合わせ occupational.therapy.tokyo@gmail.com

第17回東京都作業療法学会のお知らせ

日程 2021年7月11日 日曜日 フルオンライン開催

※コンテンツによって事前配信、見逃し配信を予定しています。
学会ホームページ、SNS等にて随時お知らせしていきます。

参加費 左ページをご確認下さい。
エントリーは学会総合ホームページより
お願い致します。



プログラム

口述/ポスター発表

特別企画 作業療法士の新たな挑戦 ～刑務所支援の実際～(仮)
講師 矢嶋 光隆 東京矯正管区第二部成人矯正第二課長
進行 三沢 幸史 東京都作業療法士会副会長

スポーツ企画 作業療法士に知って欲しい障害者スポーツの魅力
公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会

特別講演 作業療法士のパラスポーツへの関わりに向けて
講師 酒井 康年 うめだあけぼの園

委員会企画 各部、委員会からのミニ講座・シンポジウム
教育部 事業部 福祉用具部
こども委員会 地域包括ケア対策委員会
自動車運転と移動支援対策委員会 就労支援委員会
認知症の人と家族の生活支援委員会

当日の予定

	チャンネル1	チャンネル2	チャンネル3	動画配信
9:30				
10:00				
10:30				
11:00				
11:30				
12:00				
12:30	各企画・シンポジウム ウェビナー配信 鋭意進行中	口述/ポスター発表 詳細は随時発表します	口述/ポスター発表 詳細は随時発表します	Youtube 配信 参加者限定配信 配信期間 2021年7月11日 ～7月13日 配信コンテンツは 随時発表していきます
13:00				
13:30				
14:00				
14:30				
15:00				
15:30				
16:00				
16:30				
17:00				

生涯教育制度について

東京都作業療法士会教育部 部長 菊池 大典

日本作業療法士協会（以下OT協会）では作業療法士の学術的研鑽を支援するために、生涯教育制度を設定しています。本制度は基礎研修制度、認定作業療法士制度、専門作業療法士制度に分けられ、本稿では新卒作業療法士及び新規協会員が最初に取り組むことになる、基礎研修制度について解説します。

基礎研修制度は「現職者研修」と「基礎研修自由選択（以下基礎ポイント研修）」から成ります。現職者研修はさらに、共通研修と選択研修に分けられています。具体的には「現職者共通研修」「現職者選択研修(MTDLP基礎研修、身体障害領域、精神障害領域、老年期領域、発達障害領域)」として開催されます。

現職者共通研修は全10講座（各90分）で構成され、具体的な内訳は座学となる8講座と、発表とグループディスカッションの2講座となっています。東京都作業療法士会（以下都士会）では、土曜日と日曜日の2日間連続で開催する方式を基本としております。事例報告の講座はクライアントからの同意と、その証左である同意書の提出が必須となっておりますので、詳細は募集時の要項をご確認下さい。全科目の受講により修了となり、基礎研修ポイント（20ポイント）が付与されます。

現職者選択研修は必修研修であるMTDLP基礎研修に加え、任意の1講座（身体障害、精神障害、老年期障害、発達障害）を受講することで修了となります。会員が従事している領域の講座を受講する場合がありますが、他領域の知見や最新の動向を得る観点から、2講座以上の受講も期待しております。現職者選択研修は土曜日及び日曜日の開催で、各講座いずれも4科目（各90分）で構成されています。1講座を受講する度に、基礎研修ポイント（2ポイント）が付与されます。

現職者研修シリーズは都士会がOT協会からの委託を受けて、開催する形式となります。受講における要件等については、OT協会の規則に則って頂くことになります。

基礎ポイント研修は都士会教育部の裁量によって、内容を自由に設定できる研修となっております。ADL支援における実技研修や、精神科OTプログラムの検討など、実践的な研修を多数開催しております。本研修も基礎ポイント（2ポイント）が付与されますが、選択研修とは異なり受講は任意となっております。しかしながら、自己研鑽や、50ポイントの蓄積の為にも、積極的な受講をお願いします。

生涯教育制度については、OT協会ホームページ、都士会ホームページにも情報があります。そちらもご確認ください。

上記の研修は、いずれも都士会教育部が企画と運営を行っております。当面は新型コロナウイルス感染予防の観点から、Zoomを利用した遠隔形式での開催となります。当日の運営方法については模索する部分も多く、受講生の方にはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、研修会へのご参加をお待ちしております。

オンライン使い方講座（参考:都士会作成、Web会議システム研修参加マニュアルより）

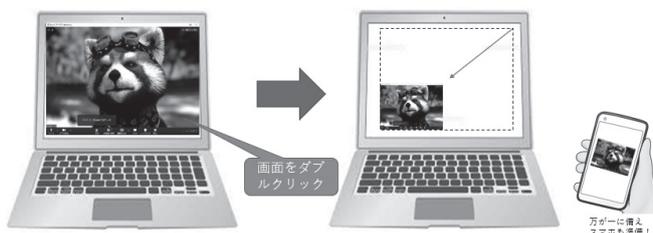
東京都作業療法士会 広報部 水口 寛子

コロナ渦になり、オンラインで研修や会議、学会などの参加されることも増えたかと思います。また、今回7月に開催される東京都作業療法士学会もオンラインで開催されます。ここでオンラインにて会議や学会等に参加される際の注意点を一緒に確認していきましょう。

1 事前準備

参加予定日までにZOOMなどのアプリをダウンロードしておきましょう。主催者はアカウントを所持する必要がありますが、参加者はインストールのみでアカウントを所持する必要はありません。ただし研修によっては参加者確認等のため事前にユーザー登録にてアカウントの所持が求められる場合があります。使用するパソコンにスピーカーとマイク、カメラが内蔵されているかを確認しましょう。なくても聴講のみで参加はできますが、発言、映像配信はできません。必要な場合は外付けのスピーカー、マイク、WEBカメラをご準備下さい。

★注意点★ アプリのバージョンが古いと不具合が起こる場合があるため、必ず最新版にアップデートしておきましょう。インターネット環境を確認しましょう。通信速度の確保のため、他の不要なアプリケーションなどは終了しておきましょう。無線よりも有線LANの方が通信は安定します。受講中に通信が途絶えた場合は、一時的な通信速度の低下の場合、1～2分で自然に復旧します。復旧しない場合は、一度Zoomを閉じて最初から入り直してください。それでも復旧しない場合はスマートフォンなどからZoomを御利用下さい。



※表示画面を小さくすることで、通信量を大幅に減らせますのでお試しください

2 参加方法

①主催者から送られてきた Zoom Webinar の「ルーム URL」をクリックして参加する場合と、②ミーティング ID とパスワードを使って参加する（スマホやタブレットでの参加方法も基本的には同じです）があります。

3. Zoom Webinarの画面に表示されるメニューボタンの機能説明（パソコンの場合）



- ① オーディオ設定：使用するスピーカーを設定します
- ② チャット：主催者側より連絡事項を送る場合があります。指示がない時は使用しないでください。
- ③ Q&A：発表者やパネリストに質問がある場合に使用することがあります。主催者の指示に従って下さい。
- ④ ミーティングから退出：自身が ZOOM サイトから退出します。

★その他の注意点★ 許可がない限り、受信映像や発表スライドのスクリーンショット等の撮影、録音、再配布は禁止されます。ハウリング（鳴音）防止のため、発言以外の時にはマイクはOffにしておきましょう。

地域づくり人材育成研修！キックオフ！

地域包括ケア対策委員会 委員長 金澤 均

新しい生活様式の中で各分野で奮闘されている先生方、誠にお疲れ様でございます。

地域包括ケア対策委員会では、2020年度より新たな取り組みとして「地域づくり人材育成研修」を立ち上げ、2021年3月27日に第一回目の研修をスタートいたしました。

今回の研修は、「共生社会」をテーマに東京保健医療専門職大学作業療法学科准教授の菊地みほ先生にお越しいただき、「地域共生社会と多職種連携」というテーマでご講義をいただきました。

午後は初の試みとして、認知症の人と家族の生活支援委員会より野本潤矢先生、自動車運転と移動支援委員会より永島匡先生、子ども委員会より池上洋先生にお越しいただき、それぞれ縦割りを越えたコラボレーション企画を行い、それぞれの分野の取り組みや押さえておきたいポイント解説などを、共生社会をテーマにご講義いただきました。

最後に短い時間ではありましたがシンポジウムとして各委員会の講師の先生方と地域包括ケア対策委員会とで、「共生社会に向けてOTはどうあるべきか？」についてディスカッションしました。

今回のテーマである「共生社会」への取り組みは、病院、施設、訪問など、様々な領域のスタンダードになるものだと思います。今後の作業療法に求められる実践とは、人に対して個別に支援するだけでは、もしかしたら世の中の期待に応えることはできないのかもしれませんが、そんなことを考える企画であったと思います。

地域包括ケア対策委員会では今年度も本企画を継続していく予定です。今年度は形を変え、よりバージョンアップしてお届けしてまいりたいと思っておりますので、是非皆様、ご参加いただきたいと思います。今年度も地域包括ケア対策委員会をよろしく願いいたします。

看護フェスタ2020の報告

事業部 部長 大館 哲詩

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から軒並みイベント中止やWEB開催への変更が続きました。事業部で「都民へ膝と膝をつきあわせて作業療法の啓発をする」をモットーに定めた矢先だったので部員としても出鼻を挫かれた形となってしまったことは残念でなりません。

さて、事業部も動画提供などをしたWEB上での『看護フェスタ』が3月末日をもって公開終了となりました。約3ヶ月半にわたる公開期間で延閲覧数は1600件以上。以前の都士会ニュースでもお伝えさせていただきましたが、都士会役員からも情報提供いただき複数の動画や資料を看護フェスタのホームページ上に掲載しました。その中でも「新型コロナウイルスについて作業療法士が考える事」と銘打った動画は他団体の動画をおさえ堂々2位の再生回数を記録しました。ちなみに1位は看護協会の「日常生活で気をつけたい感染対策のポイント」でその差わずか再生回数1回です。新型コロナウイルスに対してだけではなく、それに付随する生活範囲の狭小化、交流機会の減少など作業療法的な視点からも啓発できることはたくさんあると改めて考えさせられました。

2021年度も集合参加のイベントは制限されることが多いと予想されます。事業部としては都民の方々と膝と膝をつきあわせられる日を待ち遠しく思いながらも、オンラインでの発信など工夫しながら啓発活動を続けていきたいと思っております。

今年度も「認知症の人と家族の生活支援委員会」をよろしくお願いします。

東京都作業療法士会 認知症の人と家族の生活支援委員会 上村 淳

東京都作業療法士会「認知症の人と家族の生活支援委員会」も結成され早6年が過ぎました。

この6年いろんな事を経験させていただきました。振り返ってみると、「都民向け認知症フォーラム」に始まり、「都学会への参画」、「東京都介護支援専門員研究協議会様との合同研修会」、「超高齢社会と図書館研究会様との合同研修会」、「墨田区ひきふね図書館様との合同研修会」「認知症アップデート研修」・・・など、竹原委員長のもと「認知症作業療法」の広報啓発に取り組み、どれも私たち委員メンバーにとって良い経験であり、良い学びとなりました。

今年度は、委員退任もあり新体制となりますが、今までと変わらず、それ以上の委員会に成長することが出来ればと思っています。

昨年度は「コロナウイルス流行」による我々の生活様式は大きく変わりました。しかしながら、この大きな変化にはいまだに戸惑っております。会議や研修会開催が「対面」から「オンライン」への変化。リハビリテーションの遠隔手段の検討など、様々な時代の変化が見られた一年でありました。

これから、「コロナウイルス」感染防止に努めながら、オンラインや対面含め様々な研修会やイベントを企画することになると思われます。私たち委員の自己研鑽の場を作り、その研鑽が結果として、東京都作業療法士会会員の皆様へ、東京都民へお伝えできればと思います。私の勤務する職場では「コロナウイルスクラスター」が発生しました。しかし、私はそこで多くの事を経験し、人々の生活に作業療法の重要性を学びました。

私たち作業療法士は、このように生活が不均衡になってきている今だからこそ、様々な分野での活躍ができるのだと自負しております。

特に、当委員会が受け持つ「認知症」分野の臨床現場では、多くの作業療法士が悩みながらも力を発揮しているのではないのでしょうか？

皆さん、この「コロナ禍」だからこそ、作業療法士力をもって、乗り切りましょう！！

認知症にやさしい本の紹介 VOL.26

川崎市教育委員会 川崎市立宮前図書館 課長補佐 舟田 彰

お母さんは、だいじょうぶー認知症と母と私の20年

楠章子/文 ながおか えつこ/まんが

以前にご紹介した絵本『ばあばは、だいじょうぶ』の著者、楠章子氏の母親の介護体験記。認知症の母親へ父親と共に介護に向き合う様子がとても細かに描かれている。介護が始まったころ、家族で介護することの大変さがうかがえる。家族構成は父親と母親、そして著者は3人兄弟の一人。仕事をしながらの介護は非常に大変である。主たる介護者は父親であったが、後に父親も病気で介護される側に。母親と父親のプライドに配慮しながら、孤軍奮闘した著者の心境がよくわかる。しかし、様々な介護体験を経て、家族では抱えきれないことに気づき、自宅中心の介護サービスにより、母親、そして父親を見守り続けることになる。エピソード等で印象深かったのは母親がデイサービスの日がいつなのか混乱してしまい、デイの日程を紙に書いて張り出しておくなどの工夫や著作がお母さんやお父さんの気持ちに寄り添い、気持ちを汲みながらしっかりと寄り添いながら生活していく様子が、とても印象深かった。挿絵の4コマ漫画もちょっと微笑ましい内容が取り上げられ、また、自分が気になっていた絵本を書いた時のエピソードなども触れている。とても、読みやすいが、家族間の愛情がギュッと詰まっている。30代から介護に向き合ってきた点で、自分の父親の介護体験とすり合わせ読むことができ、共感するところがとても多かった。

自動車運転支援を実施している施設間のweb連携会議の開催

自動車運転と移動支援対策委員会 委員長 大場 秀樹
(東京都リハビリテーション病院)

2021年3月26日(金)の夜7時～8時30分に、自動車運転支援を実施している都内医療機関16施設の作業療法士が集まり、オンラインによる連携会議を行いました。この会議の目的は、自動車運転や移動支援に関わる作業療法士(以下、OT)間で実践内容や課題を共有し、またネットワークを構築して、都士会員の自動車運転や移動支援の実践力の底上げと地域での役割を創設することです。事前にアンケート調査を行った結果、急性期や回復期、また生活期においても運転支援に関わっておりその支援は多岐に及んでいました。またドライビングシミュレータを持つ施設は約6割であり、自動車教習所と連携して実車評価を行っている施設も約6割でした。年を追うごとに運転支援に関わる医療機関が増えてきていると感じています。

会議では、各施設の取り組みや課題を積極的に発言して頂き、非常に有意義な時間を過ごすことができました。全体で得られた課題は、①所属先のOT等への教育と組織内の連携、②急性期～生活期まで各ステージの役割と施設間の連携、③運転再開に向けた指導、訓練、治療の構造化、④運転困難になった時の代替手段の提案が挙げられました。

移動支援にOTが関わるためには、個別支援と地域支援の視点が重要です。OTの多くは、医療機関や施設で勤務しており、地域へ帰るまでを日々の業務として担っていることが多いと思います。それは患者や利用者に対する個別支援だと思います。そこから帰った先の仕組みについて、行政や地域包括支援センター等多くの支援者と共に考える機会を得るためには、1人でも多くのOTが介護予防事業等の手段を活用すること、またそういった機会に参画できればと思います。

今後も当委員会で連携会議を開催していきたいと考えております。是非ともご協力のほどよろしく願いいたします。

子ども委員会活動報告

子ども委員会 委員長 山崎 仁智

コロナ禍で生活様式が変わり、都士会の活動とともに一年間の日々の仕事を改めて振り返りました。新型コロナウイルスに感染しない感染させないと注意を払う必要があり対面での活動が制限され、対面での研修会等の参加や歓送迎会など恒例行事もなくなり一つ一つの区切りがなく常に緊張やストレスを感じる日々が続いたように思います。

勤務先でも、都士会でも様々な活動が制限され、必然的にプライベートの時間も制限がありました。その中でも子ども委員会の活動にも影響があり、年間の会議もオンラインでの会議が中心となり対面での活動もできず、委員会のメンバーとは一年間直接会わないまま、オンラインで研修も実施しました。対面での準備ができず委員のメンバーが在宅のままオンライン研修の運営も行ったことで新たな運営方法を学び実施するよう経験になりました。今年度の研修も、実際に対面での研修ができる環境が作れるかはわからないため、オンライン研修のやりかたや、広報の仕方を再度検討して行う必要があります。

オンラインでの研修は離れていても近くに感じることもできる反面、運営側としては参加者の反応をリアルタイムで感じ取れないことになかなか慣れずにいます。一方、在宅や職場で参加できることや東京以外からの参加者も気軽に参加できるなど、メリットのある環境でもあると思います。今でしか行えない、都士会をはじめ他県士会のみなさまにも関心を持っていただけるwebを活用した研修などを今後も企画できたらと思います。

令和3年度介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定の概要

保険部担当理事 松岡 耕史

紙面の関係上OTが関わる一部の内容になりますので、詳細は下記URLの厚生労働省ホームページの情報等をご確認ください。

<介護報酬改定 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00034.html) >

- 長期利用の介護予防リハの評価見直し**：介護予防訪問リハ・介護予防通所リハの利用開始の属する月から12月超で減算。
- リハ等の連携強化**：各種加算等の計画書や会議について、リハ専門職等が必要に応じて参加することを明確化。
- 訪問リハの充実**：退院・退所直後（3月以内）の訪問リハを週12回まで算定可能（現行は6回まで）。
- リハマネジメント加算の見直し**：リハマネジメント加算（I）は廃止し基本報酬で評価する。「定期的な会議開催」については、条件を満たせばテレビ会議等の活用も可能とする。VISITへのデータ提出を老人保健施設等に拡充。
- 社会参加加算の見直し**：名称を「移行支援加算」と変更。リハ終了後の移行状況を電話で確認し、リハ計画書を移行先の事業所に提供することを算定要件に追加。
- リハ計画書の書式見直し**：リハ計画書、個別機能訓練計画書の項目を共通化し、整理簡素化を図る。
- 生活機能向上連携加算の見直し**：ICTの活用等により、外部のリハ専門職等が、サービス事業所を訪問せずに、利用者の状態を適切に把握し助言した場合の評価を新たに新設。
- 入浴介助加算**：OT等が利用者宅を訪問し入浴の様子を評価し個別の入浴計画を作成して事業所で入浴介助を行う加算を新設。
- 介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援の充実**：居宅サービス実施数に係る指標に、訪問リハの比重を高くする。OT等のリハ3職種の配置を評価。医師の詳細な指示に基づくリハについて明確化。6月の経過措置。

<障害福祉サービス等報酬改定 (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16573.html) >

- 就労継続支援A型・B型の福祉専門職員配置等加算にOTの職名記載**
 - ・一般就労への移行の更なる促進を見込み、OTが福祉専門職員配置等加算における有資格者として新たに評価。
- 放課後等デイサービス・児童発達支援センター・児童発達支援事業所の報酬体系等の見直し**
 - ・専門的支援を必要とする児童のため専門職の配置の評価として「専門的支援加算」が設けられ、OT等を配置した場合に加算。

ブロック活動のお知らせ

区東部・東北部ブロック

竹原 浩司郎

新しい年度が始まります。気持ちも新たに宜しくお願いいたします。

昨年度から、区東部東北部ブロック活動に、私は参加させて頂いております。コロナ禍のため、他の施設や病院に勤務するブロック員に、直接お会いする機会はありませんでしたが、zoomを利用し各事業所の感染対策の情報交換や研修会を開催するにあたって、どのように進めていくのかを学ぶことが出来ました。普段は職場の方たちとの関わりが多く、他機関の方達との交流は少ないので、ブロック委員は他機関のOTとの交流の場として学びの多いところです。この一年間、ブロック活動を通し様々なことを学び、作業療法士として成長することができたと思います。

当ブロックでは、5月7日から、新人向け研修会を配信していく予定です。講師はブロック内のメンバーが務めます。テーマも様々なものを準備しております。新人の方々は無料で、経験者も格安の値段で聴講することができます。

是非、病院施設での新人教育にご活用ください。宜しくお願い致します。

区西部・西北部ブロック

神田 幸洋

昨年度のブロック活動は、オンラインでのZOOMを利用した会議、研修会を企画しました。内容としてはコロナ禍での各施設での取り組みを話合う情報交換会を2回、日本作業療法士協会生涯教育制度についての研修会を1回開催することが出来ました。今年度は西部・西南部ブロックと協同でMTDLPの基礎研修と事例報告会を企画していきます。

また、現在、区西北部ブロックの情報共有のための媒体がfacebookのみとなっていたため、都士会や区西北部ブロックの情報を配信する為にメーリングリストを作成していきます。(登録URL: <https://forms.gle/mtQ7pf8dqB26sThRA>) 登録ご協力いただけると助かります。⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒



区南部・中央部・島嶼部ブロック

森田 将健

当ブロックでは3月5日に「コロナ禍における作業療法～各領域からの取り組み報告」と題し、急性期・回復期・生活期の各分野から、現場での取り組みについて発表頂きました。定員を80名程度と想定していましたが、他県士会や他ブロックからも参加をいただき、100名を超える参加となり、COVID-19に対する関心の高さが伺えました。実習に出られていない学生に向け、少しでも現場のOTとのつながりを持てればと、初の試みとして学生の参加も受け入れ、約半数を学生が占めました。学生の意欲の高さも垣間見ることができましたが、その殆どが1年生の参加だったため、講義の内容が難しかったかもしれません。質問はアンケートに記載してもらい後日講師陣から回答を送付する形をとったことで幅広い層の質問に答えられたと思います。

研修会自体1時間程度のものでしたが、アンケートから参加者の98%に有意義な時間を持てたと回答頂いたので、オンライン研修の特性を踏まえ、次回以降の研修計画に生かしていきたいと思っております。

区西部・西南部ブロック**齊藤 洸太**

春めいてきましたね！夏の都学会に向けて西部西南部ブロックは全力で準備しています。フルオンラインでの取り組み、運営委員のメンバーで心配しつつも楽しんでおります。もうワクチンを接種した方はいるのでしょうか？ある病院では、2回目の接種で、38度以上の熱を出した方が7人に1人の割合だったとか。接種しないと若い方でも重篤化する例もありますし、新しい日常に向けて取り組むべき課題は多そうです。シニアの方においては、地域活動の制限や自粛が増えることで、閉じこもりが増え、役割や生きがいを失った方がフレイル状態、最悪自分の事を自分でできなくなっていく。このような方々が新たな生きがいや、家族内や地域での役割が担えるよう、作業療法士がその人にとっての作業を獲得できる支援を講じていきたいですね。勝手な価値観ですが、おそらくそれができるのは家族か、作業療法士なのではないでしょうか？まだまだ、作業療法士の可能性は広いですね！OTで良かった。

新人さん、これから共に楽しんでいきましょう！

北多摩ブロック**原田 祐輔**

北多摩ブロックでは、今年度の重点課題として掲げている「地域における作業療法士同士の連携強化」に向けて、誰でも気軽に参加できる座談会（仮称：北多摩OTの集い）の開催を計画しています。年3～5回、Zoomにて実施予定です。さまざまな年齢や立場の方が参加しやすい場にするためにどうすれば良いか、ブロック委員で検討を重ねていますが、ブロック委員以外の方々からもご助言をいただけますと有難く存じます。座談会に限らず、勉強会の希望やその他ブロック活動に関するご意見がありましたら、ot.kitatama@gmail.comまでご連絡ください。2021年度もよろしくお願ひ申し上げます。

西多摩・南多摩ブロック**今泉 幸子**

西多摩・南多摩ブロックでは、今年度もオンライン運営会議を開催しながら、運営メンバー間の情報共有を図りつつ、こんなご時世ですのでブロック内のOTがつながれることに重点を置き、活動していきたいと考えております。企画としては、昨年度は残念ながら開催できなかった恒例の大懇親会を、7/16（金）に『先輩作業療法士の経験談を聞こう & 大懇親会』としてオンライン版で開催します！また、今年度はブロック内のメーリングリストの作成にも取り組んでいきたいと考えております。

ご意見・ご要望・ご質問はこちらまでお寄せください ⇒ swtamaot@gmail.com

就労支援委員会

医療法人社団KNI 北原国際病院 齊藤 陽子

2020年度の活動報告・2021年度 就労支援委員会主催 オンライン就労支援相談会のご案内

2020年度、就労支援委員会では、会員の皆さんを対象として、オンラインを活用したセミナーを1回、新たな企画として「オンライン就労支援相談会」を2回開催しました。今年度も、オンラインを活用した研修会や、「オンライン就労支援相談会」を開催予定です。COVID-19の影響により、直接お会いすることが難しい状況が続いていますが、就労支援について、会員の皆さんと一緒に学び、情報共有等ができる機会をつくっていきたいと思います。

【就労支援委員会主催 オンライン就労支援相談会】

【日時】2021年6月11日（金）19:00～20:30

【定員】相談者：2名 聴講のみ：3名

【対象】東京都作業療法士会 会員

【参加費】：無料

【申し込み方法】URL：<https://forms.gle/TqRgrtJ5nVXmBmE77> または、QRコード、
東京都作業療法士会ホームページ よりお申し込み下さい

就労支援委員会では、昨年度より、就労支援に関する悩み事や困りごとを解決する為に、『オンライン就労支援相談会』を開催しています。これまで、「実際に担当された事例の支援方法」や、「地域の支援機関との連携方法」などについて、一緒に考えてきました。

また、今年度は、「オンライン就労相談会はどんなことをしているの?」、「話だけでも聞いてみたい!」という方向けに、聴講目的での参加枠も準備しています。

就労支援について相談してみたいことがある方、興味がある方は、是非、ご参加下さい!



※オンライン就労支援相談会は、下記日程にも開催予定です!

8月3日（火）19:00～20:30、10月3日（日）13:30～15:00、12月3日（金）19:00～20:30

編集後記

いつも広報部の活動にご協力いただき、ありがとうございます。都士会ニュースが手元に届いた時にはいつもほっとします。締め切り等いつもご負担おかけしますが、各部・委員会の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。まだまだCOVID-19の収束が見えず、大変な日々をお過ごしかと思えます。そんな中でも楽しみを見つけ、会えない中でも人とのつながりを感じられる生活を送っているといいですね。7月に行われるオンラインでの都学会の成功をお祈りしています。

広報部長 水口寛子

※ニュースに掲載されている写真は、ご本人の同意を得たうえで掲載しています。

◆東京都作業療法士会 事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-4-1 新宿Qフラットビル501号室

TEL：03-6380-4681 FAX：03-6380-4684

◆東京都作業療法士会ホームページ <http://tokyo-ot.com/>

◆東京都作業療法士会ホームページ窓口 postmaster@tokyo-ot.com

※お詫びとお願い：現在事務局での電話対応が困難な状況にあります。

ご質問・ご連絡は、FAX・メールにてお願いいたします。